

第10回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和3年3月24日（水）午後2時より午後3時30分まで

協議内容

- ・令和2年度東大阪市高齢者地域ケア会議機関等代表者会議について事務局より委員からの意見をまとめた資料について報告がなされる。その後、来年度の取り組みについては主にZOOMなどのオンラインツールの普及について意見交換が行われた。
- ・チームオレンジについて委員より説明があり、今後の動きや活動内容について意見交換が行われる。
- ・東大阪市認知症本人活動支援ワーキンググループについて委員より説明があり、来年度の課題としては本人の活動や発信の場づくり、広報の仕方などが挙げられる。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 3/18 地域包括支援センター連絡調整会議 来年度の担当職員研修は主任介護支援員、社会福祉士、保健師の3職種それぞれに分かれてスキルアップできる内容を考えていきたい。
- ・地域包括支援センター 介護予防事業については様々な制限がある中、少人数で開催したり、立ち寄り型での介護予防教室を行っている。
医療機関との連携の中でカンファレンスが出来なかったり、退院支援の難しさに直面することがある。
- ・介護支援専門員連絡会 3/9 幹事会 ハイブリッド型で実施。今年度の総会も書面開催になる予定。
- ・訪問看護事業者部会 3/23 管理者会議 事業所間の連携整備を行っている。ICTが徐々に当たり前になってきており、メリット、デメリットについて考えながらうまく活用していきたい。
- ・布施医師会 3/13 東大阪市三医師会 認知症かかりつけ医対応力向上研修会 ZOOMにて開催 25名参加
認知症初期集中支援チーム 布施 140件エントリー/86件終了
- ・河内医師会 3/4 在宅医療研修会
患者の受診抑制の動きはやや緩和している。
ワクチンについての話が多く、集団接種や個別接種についての協力依頼が各医院に来ている。
- ・枚岡医師会 ワクチン接種について、現時点で個別接種は枚岡圏域では42件の医院が引き受けることになっており、集団接種については協力体制は構築している。
- ・市立東大阪医療センター 3/12 五条老人センターからの依頼で感染症に関する講演会をZOOMにて実施。
医療職のワクチン接種がスタートしている。
異動により地域医療連携室室長が交代。
- ・社会福祉協議会 前回、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少、失業した方への貸付（緊急小口資金・総合支援資金）が再延長になったと伝えたが正しくは延長ではなく、再貸付である。再貸付時には非常に多くの申込があった。なお、貸付期間は6月末まで延長になる予定である。
認知症サポーター養成講座のチラシが一部変更になっている。
- ・福祉事務所 3/23 老人クラブへの説明会 中地区対象で実施。3/24には東地区で開催する。
- ・地域包括ケア推進課 介護報酬の改定に伴い、BCP（業務継続計画）の策定が義務付けられた。そのための環境整備として、厚労省から介護事業所向けに新型コロナウイルス感染症と自然災害発生時の業務継続ガイドラインが発出されているので情報提供を行わせていただく。
2/27 多職種連携研修会全体会 アンケート結果では好評な意見が多かった。
養介護施設従事者向けの高齢者虐待防止研修 配信形式が非常に好評だった。
おれんじ通信 会議の意見から6テーマ採用した。市民からの問い合わせもあった。